

## 第4節 小串構内(山口大学医学部構内遺跡)の調査

### 1. 医学部地域医療教育研修センター新営工事に伴う立会調査

**調査地区** 小串構内体育館北東側空地

**調査面積** 4㎡

**調査期間** 平成23年9月6・9・16日

**調査担当** 横山成己

#### 調査結果

平成23年度に実施した予備発掘調査は、医学部地域医療教育研修センター建物部分を対象として実施したものであった。調査の結果、近世客土の下位に堆積する第4層に縄文時代～中世の遺物が混在して比較的密に包含されることが明らかとなった。<sup>註1</sup> 一方で平成16年度に体育館北方で実施した職員宿舎他公共下水接続工事に伴う試掘調査にて確認した自然堆積層<sup>註2</sup>とはやや土質が異なるようであったため、新規建物への配管ルート上4地点において立会調査を実施したが(図24)、A地点が湧水のため地表下約1.4mの掘削に止められたため、実質的には残り3地点の調査を行うこととなった。

調査の結果、B地点は平成16年度調査にて検出された層序と同一であることが確認された(図25)が、C・D地点は近世客土が厚く、柵設置掘削深度内に客土の下位層を確認することができなかった(写真41)。

小串構内では、学部校舎や病院・病棟が集中する南部域は既設建物が密集するため、今後も新規建物等は体育館の北部域に計画されることが予想される。北部域は埋蔵文化財の分布が密であり、今後も慎重な対応が不可欠である。

#### 【註】

- 1) 横山成己・松浦暢昌(2014)「医学部地域医療教育研修センター新営工事に伴う予備発掘調査」,山口大学埋蔵文化財資料館(編)『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成22年度－』,山口
- 2) 横山成己(2006)「医学部職員宿舎他公共下水接続工事に伴う試掘調査」,山口大学埋蔵文化財資料館(編)『山口大学埋蔵文化財資料館年報－平成16年度－』,山口

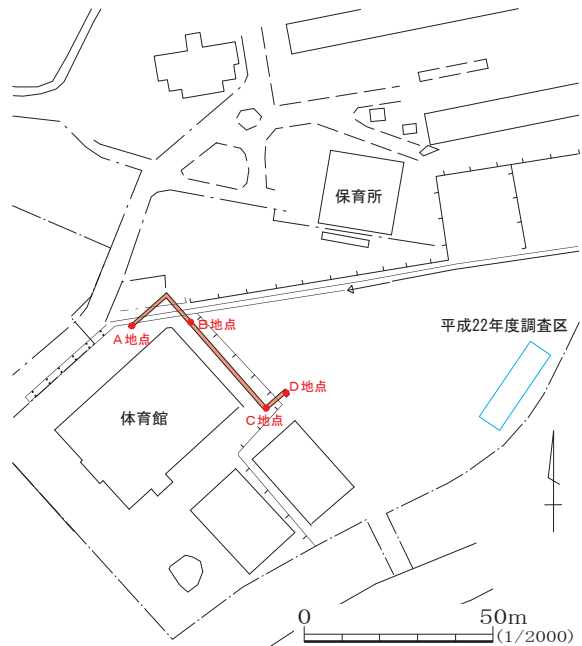


図25 調査区位置図



写真41 D地点土層断面(南西から)

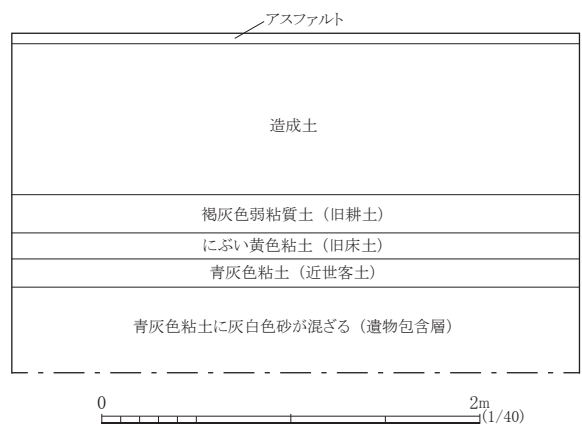


図26 B地点土層断面柱状図